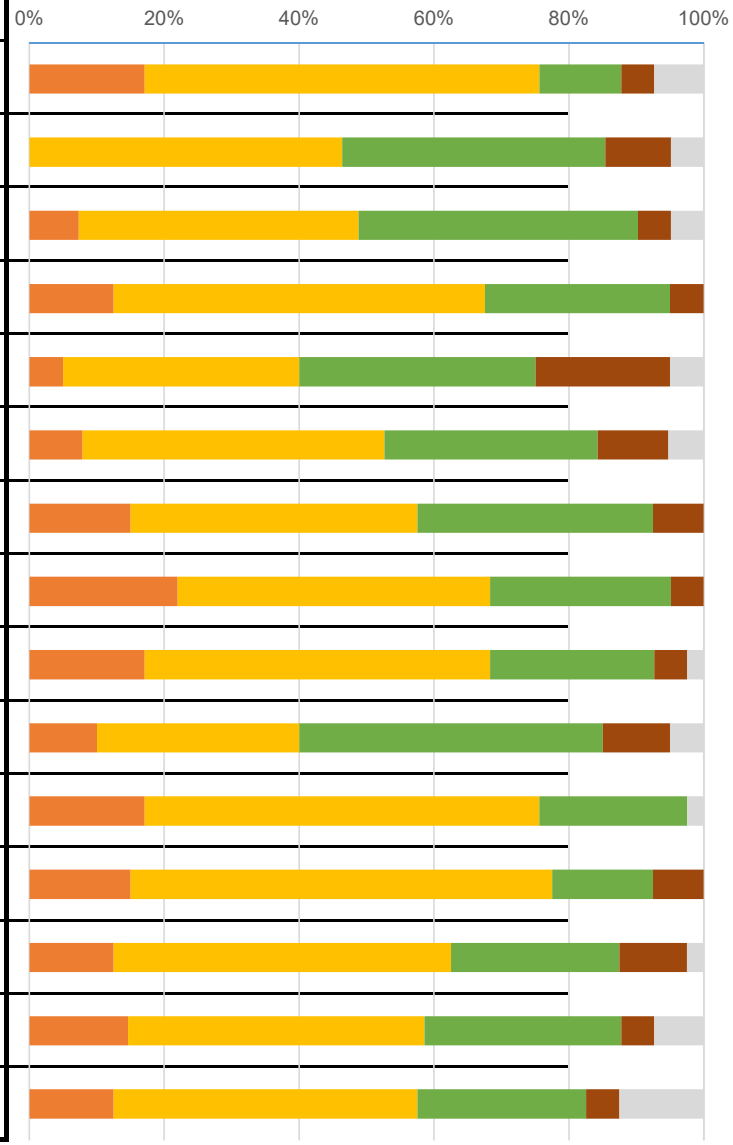
2019（令和1）年度　学校教育自己診断【教職員】

実施 2019年12月上旬

		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない	わからない
1	各年度の教育計画について認識している	17.1%	58.5%	12.2%	4.9%	7.3%
2	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している	0.0%	46.3%	39.0%	9.8%	4.9%
3	学級経営の事案を事案により、担任団、学年団、学校全体で共有し、解決に取り組んでいる	7.3%	41.5%	41.5%	4.9%	4.9%
4	学校の教育課程について、教職員で話し合うことがある	12.5%	55.0%	27.5%	5.0%	0.0%
5	生徒の学力向上のため、学校全体で取り組みを行っている	5.0%	35.0%	35.0%	20.0%	5.0%
6	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度に生かしている	7.9%	44.7%	31.6%	10.5%	5.3%
7	成績評価のあり方について話し合う機会がある	15.0%	42.5%	35.0%	7.5%	0.0%
8	人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、教職員で話し合う機会がある	22.0%	46.3%	26.8%	4.9%	0.0%
9	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる	17.1%	51.2%	24.4%	4.9%	2.4%
10	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、教職員間で話し合う機会がある	10.0%	30.0%	45.0%	10.0%	5.0%
11	生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	17.1%	58.5%	22.0%	0.0%	2.4%
12	教育相談体制が整備されており、生徒がいろいろな人と相談する機会が保障されている	15.0%	62.5%	15.0%	7.5%	0.0%
13	特別活動、学校行事等が生徒の育成につながるよう工夫、運営されている	12.5%	50.0%	25.0%	10.0%	2.5%
14	教育活動に必要な情報について保護者への周知に努めている	14.6%	43.9%	29.3%	4.9%	7.3%
15	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている	12.5%	45.0%	25.0%	5.0%	12.5%